

遠
2378
363

あゝ

うゝ

所

三

三日月



土積成山則豫樟生。ふもとの藝をむら下るを那りて。
 あま雲たるむじきおひのほゆる。亀山曾我れあること
 を池鯉射乃市藏。諺ふ取あり甘るる。漆分韁。
 けいそびのいゝあうりむじきひほけ。藝の竜の底み
 お込置。と或日錦耕堂れ主のちりやうも
 出。く。草紙と書。發端は伊勢は國。
 たじこのさなげを笑ひきりけり。嗚呼いこのあせん
 阿千は也。

七代目

團十郎





池鯉の
馬士
五郎吉

実八石井兵衛の孫
半次郎

袖平の
妻
於鐵

竹部
文大夫
文平

夫木集
公朝卿

もふと...
人を...
あみ乃...
た...
お...

石井の
下平部
袖平
後池鯉
の
市藏

りりは



濱名
蝶の
香炉

尚書
天之
道者
福干善
福干惡兵

雲助組の
悪練
江戸平

遠所濱名の執権
霜村佐内冬親

あやこが
うせつが
のさのち
らひさあひ
のいんあひ
どのこや
わのち
あやこが
うせつが
のさのち
らひさあひ
のいんあひ
どのこや
わのち



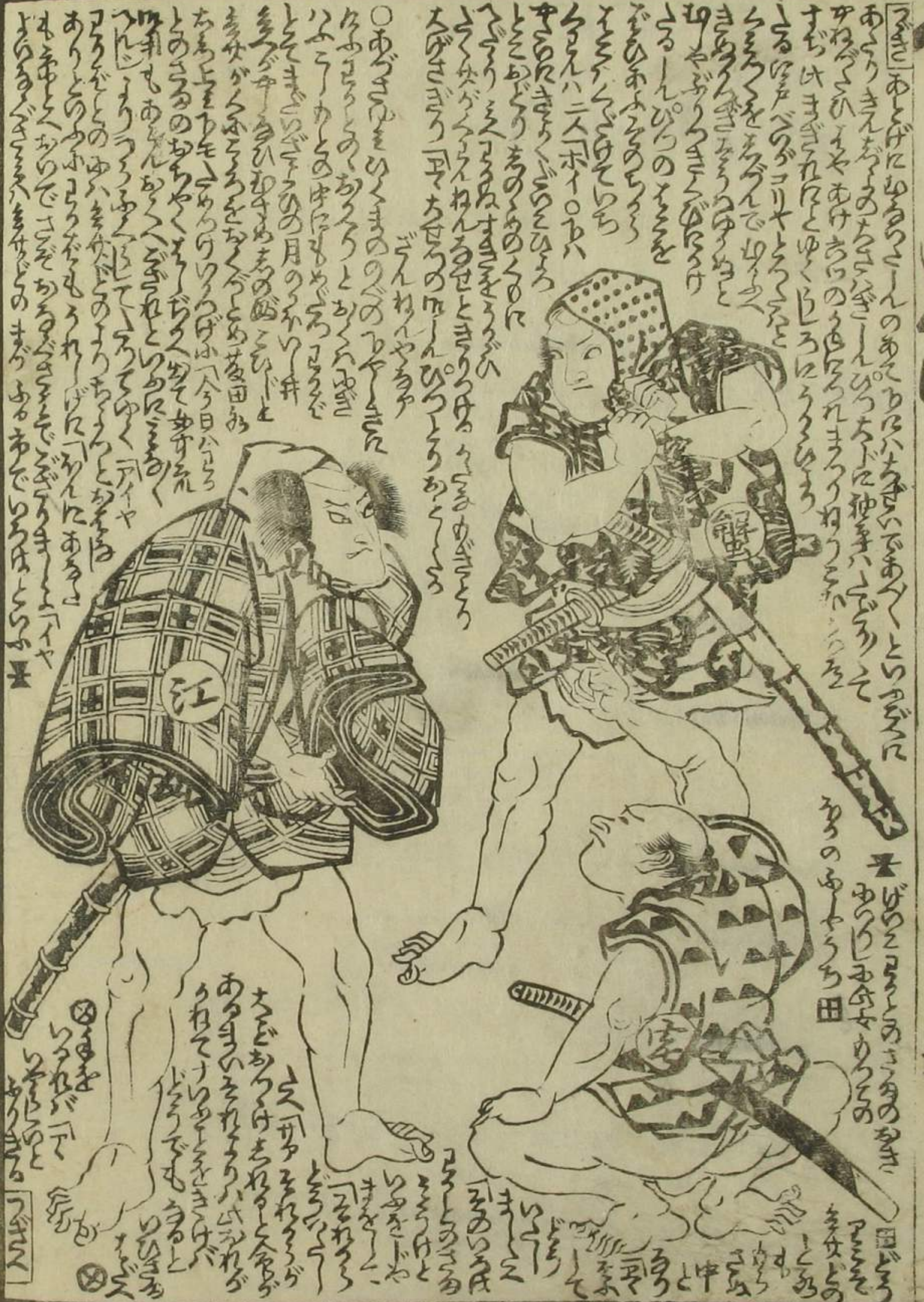
あやこが
うせつが
のさのち
らひさあひ
のいんあひ
どのこや
わのち

あやこが
うせつが
のさのち
らひさあひ
のいんあひ
どのこや
わのち



あやこが
うせつが
のさのち
らひさあひ
のいんあひ
どのこや
わのち

二之巻









その中

十五

かへ



その中

十五

かへ

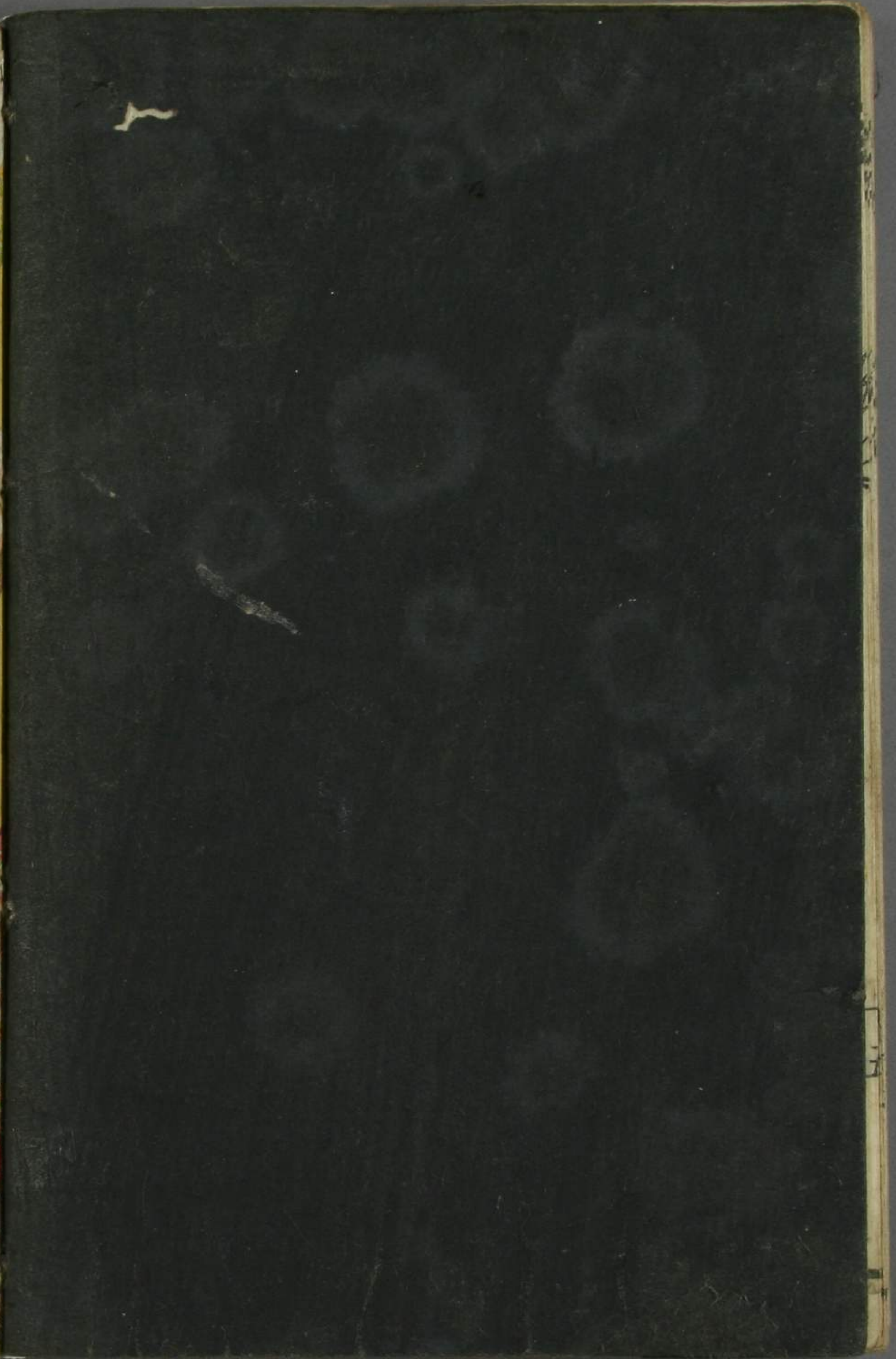


市川三升作

春亭画

山口屋板

山龜



卷之四



多
 人
 以
 此
 年
 十
 二
 月
 廿
 二
 日



Handwritten Japanese text, likely a dialogue or narrative passage, located above the illustration on the left page.

Extensive handwritten Japanese text, possibly a continuation of the dialogue or a separate chapter, covering the lower half of the left page.

Handwritten Japanese text at the top of the right page, positioned above the illustration.

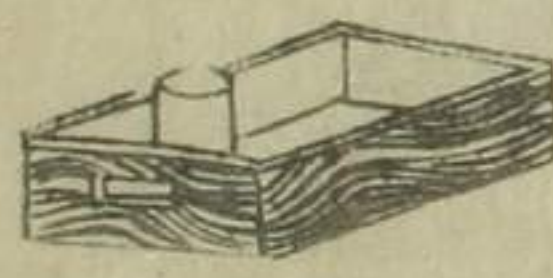


Handwritten Japanese text at the bottom of the right page, below the illustration.

卷之五



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or dialogue related to the scene above.



Handwritten Japanese text surrounding the man's illustration, including a small box icon and a character '吉' (Kichi) on his garment.

Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the right page.



Handwritten Japanese text surrounding the scene below, including a small box icon and a character '吉' (Kichi) on the kneeling figure's garment.

一、はるすけの...
 二、はるすけの...
 三、はるすけの...
 四、はるすけの...
 五、はるすけの...
 六、はるすけの...
 七、はるすけの...
 八、はるすけの...
 九、はるすけの...
 十、はるすけの...



俗名石井兵助

一、はるすけの...
 二、はるすけの...
 三、はるすけの...
 四、はるすけの...
 五、はるすけの...
 六、はるすけの...
 七、はるすけの...
 八、はるすけの...
 九、はるすけの...
 十、はるすけの...



一、大坂の陣の時、
 源氏と平氏の争いで、
 源氏の大將、源頼朝が、
 平氏の大將、平賀正盛を、
 大坂の陣で討ち死せしめた。
 此の物語は、源氏平氏の争い、
 大坂の陣の時、源氏平氏の争い、
 源氏の大將、源頼朝が、平氏の大將、平賀正盛を、
 大坂の陣で討ち死せしめた。

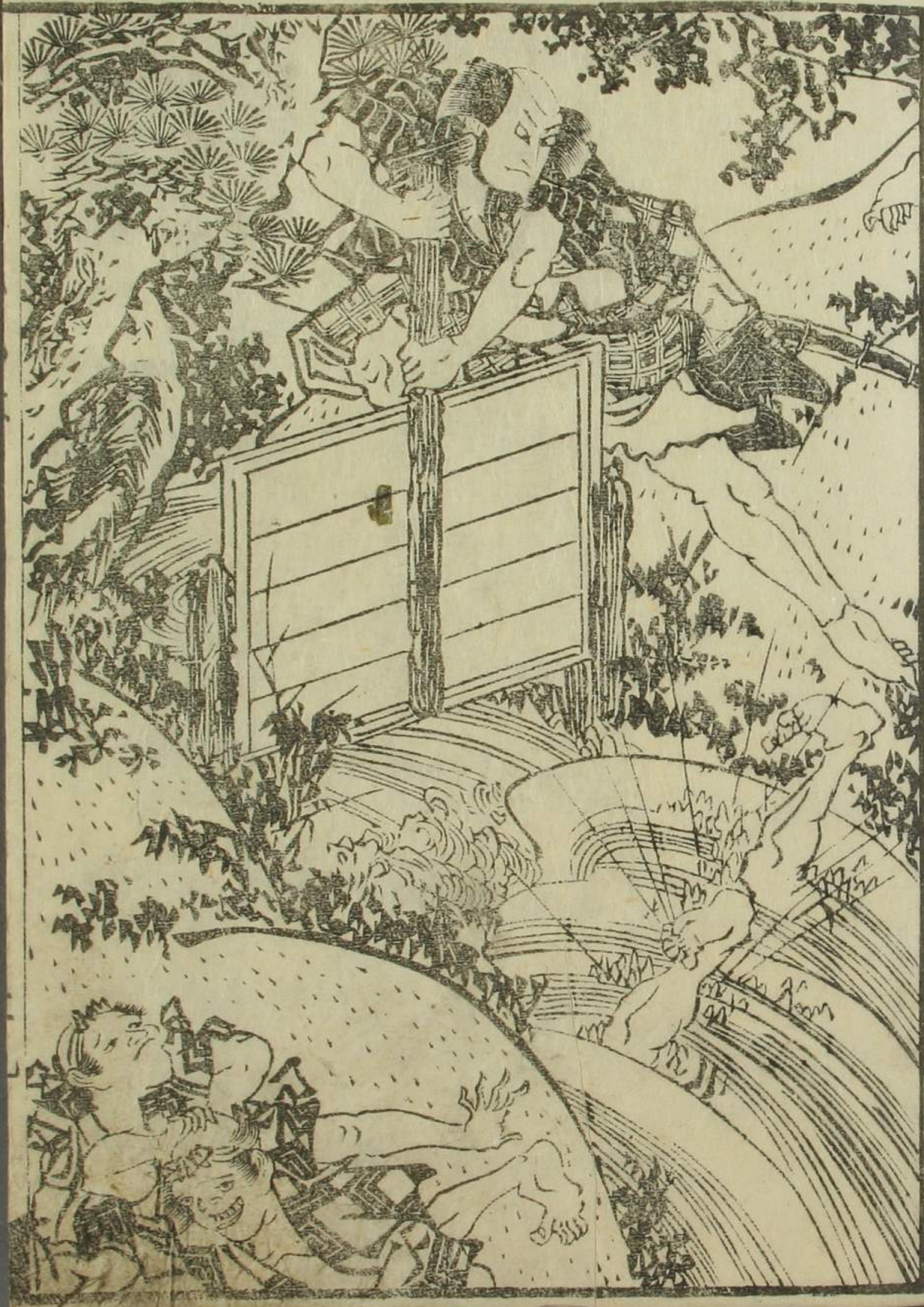


朝
 女
 女
 女

一、大坂の陣の時、
 源氏と平氏の争いで、
 源氏の大將、源頼朝が、
 平氏の大將、平賀正盛を、
 大坂の陣で討ち死せしめた。
 此の物語は、源氏平氏の争い、
 大坂の陣の時、源氏平氏の争い、
 源氏の大將、源頼朝が、平氏の大將、平賀正盛を、
 大坂の陣で討ち死せしめた。



朝
 女
 女
 女



ついでにヤアおちろとてそのものぐね百年め
 このそで年もすけごちとていさを
 せのしる海はく
 ありのめゆり
 ろらにうらな
 そのとて六つて
 しごいともちも
 くまのぬ
 サアおちろ
 よまの
 ろらバ

△いざ
 なまくと
 めいざ
 まりけ
 うりけ

△ア
 ちげのそで年
 △ちこのら
 △ちそれけら
 うまら
 ぬまら

カ

ハ

十



あつて
うんを
まうを
と
と
あつて
うんを
まうを
と
と

あつて
うんを
まうを
と
と

三十三



あつて
うんを
まうを
と
と

あつて
うんを
まうを
と
と

三十三

江

源次郎
 さきゆいそらひたあ
 おどろのあをを
 とらふもやゆえのぼり
 まゆふみん又べんふふふふふふ
 との中もあふふふふふふふふ
 今やあふふふふふふふふ
 用ちあふふふふふ



下村之内
 おまの
 うけわ
 むやうわら
 そらへふふふ
 自をを
 大とり毛どのがさ
 ころころあさひのひり
 ろゆわふふふのふふ
 ころころふふふふふふのふ
 そらへふふふふふふふふ
 そのやふふふふふふふふ
 ああせふふの初春ふ



朝路
 筆者 藍庭音米
 袖平
 市川三升作




勝川春亭画

あふふふふ
 ちあふふふ
 ちあふふふ
 ちあふふふ
 ちあふふふ

